

# 社会資本総合整備計画（第3回変更）

平成29年3月17日

計画の名称	66 産業拠点へのアクセスを改善する道路整備	重点計画の該当
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）	交付団体 牧之原市
計画の目標		

大規模工場増設、工業団地造成による産業拠点の本格稼働に合わせ、通勤車両並びに製造部品納入トラック等の円滑な交通を確保するとともに、周辺道路の整備を行うことで、地域内の安全安心な交通を確保する。

### 計画の成果目標（定量的指標）

- ・ 産業拠点へ向う車両の分散化
- ・ 産業拠点へのアクセス時間の短縮

### 定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)							
	交通結節点（東名高速道路相良牧之原IC及び御前崎港）から産業拠点入口までの走行時間の短縮 現況走行時間－完成後走行時間	0分	－		6分					
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,768 百万円	A	2,768 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

### 交付対象事業

A 地方道路整備事業													全体事業費 (百万円)	費用便益比	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）							
											H26	H27				H28	H29	H30
66-A1	道路	一般	牧之原市	直接		市町村道	改築	(他) 壺丁田北線	バイパス L=0.773km	牧之原市						1,410		
66-A2	道路	一般	牧之原市	直接		市町村道	改築	(他) 大倉壺丁田線	バイパス L=1.545km	牧之原市						1,180		
66-A3	道路	一般	牧之原市	直接		市町村道	改築	(1) 東萩間西原線	道路改良 L=0.675km	牧之原市						178		
合計																2,768		

B 関連社会資本整備事業													全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）							
										H26	H27	H28			H29	H30	
合計																0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)
										H26	H27	H28	H29	H30	
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														

その他関連する事業															
計画等の名称															
事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)
										H26	H27	H28	H29	H30	
A'															

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	348	472			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	348	472			
前年度からの繰越額 (d)	55	195			
支払済額 (e)	208	667			
翌年度繰越額 (f)	195	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	-	-			

- ※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。
- ※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。



## 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：66 産業拠点へのアクセスを改善する道路整備

交付団体名：牧之原市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
<b>①基本方針・上位計画等との適合等</b>	
1) 基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
<small>(該当するものに○)            1 国土形成計画全国計画 2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画            3 社会資本整備重点計画 4 環境基本計画 ⑤ その他(第1次牧之原市総合計画H19～H27)</small>	
II. 計画の効果・効率性	
<b>③目標と事業内容の整合性等</b>	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
<b>④事業の効果</b>	
1) 十分な事業効果が期待できる。	○
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
<b>⑥円滑な事業執行の環境</b>	
1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○